

## 2015年9月施行症例の集計結果/ 概要

施設数	208		
症例数	2104		
年齢	64.8±10.6歳		
男/女	1532 (72.8%) / 572 (27.2%)		
セッション回数	1回め	1661	78.9%
	2回め	356	16.9%
	3回め以上	87	4.1%
AFの種類	発作性	1345	63.9%
	持続性*	503	23.9%
	長期持続性	256	12.2%
血栓塞栓症のリスク (CHA2DS2-VAScなど)	C/心不全	298	14.2%
	H/高血圧	1059	50.3%
	A2/75歳以上	333	15.8%
	D/糖尿病	284	13.5%
	S2/脳梗塞・TIA	156	7.4%
	V/血管疾患	151	7.2%
	A/65-74歳	920	43.7%
	Sc/女性	572	27.2%
	CHADS2	1.09±1.07	
	CHA2DS2-VASc	2.03±1.48	
上記に無い基礎疾患	CAD	166	7.9%
	DCM	37	1.8%
	HCM	49	2.3%
	その他の心筋疾患(サルコイドーシスなど)	14	0.7%
	洞不全症候群	130	6.2%
	甲状腺機能亢進症、その既往	34	1.6%
	慢性呼吸器疾患	39	1.9%
	先天性心疾患	7	0.3%
	後天性弁膜症	63	3.0%
	腎機能低下	155	7.4%
	人工透析を要する腎症	27	1.3%
	開心術後	43	2.0%
心エコーのデータ	左室駆出分画(EF/%)	63.0±9.7	
	左房径(mm)	40.3±7.0	
抗不整脈薬の効果	治療歴なし	581	27.6%
	薬物治療抵抗性	1249	59.3%
	有効な抗不整脈薬あり	101	4.8%
抗不整脈薬の服用歴	ジソピラミド	86	4.1%
	シベンゾリン	210	10.0%
	アブリンジン	74	3.5%
	ピルジカイニド	459	21.8%
	フレカイニド	237	11.3%
	プロパフェノン	50	2.4%
	ベプリジル	415	19.7%
	アミオダロン	147	7.0%
その他(ベラパミルは除く)	125	5.9%	

アブレーション前の検査	経食道心エコー/TEE	1586	75.4%	
	MRI	72	3.4%	
	MDCT	1727	82.1%	
治療に要した時間	入室から退室	3.4±1.4時間		
透視時間	時間(分)	56.0±39.5分		
特殊な診断治療機器	CARTO	1350	64.2%	
	EnSite	614	29.2%	
	イリゲーションカテーテル	1881	89.4%	
	ノン-イリゲーションカテーテル	135	6.4%	
	クライオバルーン	205	9.7%	
	クライオカテーテル	18	0.9%	
	ホットバルーン	0	0.0%	
焼灼法 ●以前のPVIが不完全なため追加焼灼したものを含む	PV隔離 上下PV一括隔離	1438	68.3%	
	PV隔離 個別隔離	468	22.2%	
	PV隔離 Box隔離 (4本一括隔離)	115	5.5%	
	PV隔離を行わず (既に隔離済みのため)	85	4.0%	
	PV隔離を行わず (これまでも未施行)	11	0.5%	
	右房のCFAE	84	4.0%	
	左房のCFAE	187	8.9%	
	RA focal	85	4.0%	
	LA focal	94	4.5%	
	LA 線状/天蓋部	390	18.5%	
	LA 線状/僧房弁輪(峽部もしくは前壁ライン)	206	9.8%	
	LA 線状(PV隔離と天蓋部・僧房弁輪以外)	198	9.4%	
	右房解剖学的峽部	1089	51.8%	
	SVC/focal or 隔離	334	15.9%	
	GPアブレーション	69	3.3%	
	冠静脈洞/ focal, linear	60	2.9%	
	PLSVC/ focal, linear	5	0.2%	
	マーシャル静脈への高周波アブレーション	8	0.4%	
	マーシャル静脈へのChmeicalアブレーション	11	0.5%	
	低電位領域へのアブレーション	36	1.7%	
	Roter (Driver)	25	1.2%	
	術中も作用を残した抗血栓療法 ●前日まで使用したNOACを含む	ワーファリン	362	17.2%
		ダビガトラン(プラザキサ)	292	13.9%
		リバーロキサバン(イグザレルト)	502	23.9%
		アピキサバン(エリキュース)	690	32.8%
		エドキサバン(リクシアナ)	87	4.1%
		抗血小板剤(アスピリン等)	69	3.3%
		術中の麻酔方法 ●主なものをひとつ	Minimal sedation	193
	意識下鎮静(中等度鎮静)		760	36.1%
	深鎮静:鎮静に専従する医師による		97	4.6%
	深鎮静:上記以外による		960	45.6%
	全身麻酔		64	3.0%
鎮静に用いた薬剤	プロポフォール (ディプリバン)	1063	50.5%	
	デクスメトミジン (プレセデックス)	1220	58.0%	
	ミダゾラム (ドルミカム)	190	9.0%	
	ペンタゾシン (ソセゴン、ペンタジン)	1211	57.6%	
	ヒドロキシジン(アタラックスP)	769	36.5%	

	フェンタニル	379	18.0%	
	その他	436	20.7%	
術中モニター・管理	動脈圧	1767	84.0%	
	SpO2	2098	99.7%	
	ETCO2	171	8.1%	
	BIS	502	23.9%	
	ASV/BiPAP	775	36.8%	
	経鼻エアウェイ・経口エアウェイ	373	17.7%	
	ラリングアルマスク	143	6.8%	
	食道温測定	1768	84.0%	
術中の電氣的除細動	0回	1128	53.6%	
	1回	600	28.5%	
	2回	191	9.1%	
	3回	82	3.9%	
	4回以上	103	4.9%	
焼灼後のAF誘発	施行して持続した(5分以上の持続)	241	11.5%	
	施行したが持続しない(5分未満)	936	44.5%	
	施行せず	834	39.6%	
合併症	ドレナージを要さない心膜液貯留(心外膜炎を除く)	10	0.5%	
	ドレナージを要した心膜液貯留	15	0.7%	
	開胸を要した心膜液貯留	1	0.0%	
	房室ブロック + 一時的ペースメーカ	1	0.0%	
	房室ブロック + 恒久型ペースメーカ	2	0.1%	
	洞停止・洞性徐脈 + 一時的ペースメーカ	9	0.4%	
	洞停止・洞性徐脈 + 恒久型ペースメーカ	4	0.2%	
	TIA	1	0.0%	
	脳梗塞	1	0.0%	
	画像検査で確認された無症候の新鮮脳梗塞	1	0.0%	
	気胸	0	0.0%	
	血胸	0	0.0%	
	一過性横隔神経麻痺	8	0.4%	
	遷延性横隔神経麻痺	2	0.1%	
	空気塞栓	2	0.1%	
	肺静脈狭窄 (75%以上)	1	0.0%	
	動静脈瘻	0	0.0%	
	穿刺部血腫	22	1.0%	
	後腹膜血腫	0	0.0%	
	仮性動脈瘤	4	0.2%	
	左房食道瘻	0	0.0%	
	食道心嚢瘻	0	0.0%	
	食道縦隔瘻	0	0.0%	
	心外膜炎	2	0.1%	
	食道神経叢障害/急性胃拡張	5	0.2%	
	その他の重篤な合併症	6	0.3%	
	死亡	1	0.0%	
	退院時の処方	ワルファリン	357	17.0%
		ダビガトラン (プラザキサ)	311	14.8%
		リバーロキサバン (イグザレルト)	525	25.0%
		アピキサバン (エリキュース)	782	37.2%

エドキサパン (リクシアナ)	94	4.5%
抗血小板薬 (アスピリン等)	122	5.8%
ジソピラミド	16	0.8%
シベンゾリン	66	3.1%
ピルメノール	0	0.0%
アブリンジン	39	1.9%
ピルジカイニド	121	5.8%
フレカイニド	141	6.7%
プロパフェノン	16	0.8%
ペプリジル	365	17.3%
アミオダロン	122	5.8%
その他の抗不整脈薬	18	0.9%
ベラパミル	69	3.3%
β 遮断薬	767	36.5%
ACE阻害薬	113	5.4%
ARB	389	18.5%
スタチン	318	15.1%

\*記載の無い2例は持続性とした